

# 国「例外認めざるべきでない」

万人。予約開始日も六月上旬に延期する。すでに「市政だより」や報道発表で告知していた日程を、発送の前日に、見直すとは発表する。異例の対応となった。

市は二十四日、七十五歳以上の市民向けに五月分の先行予約(約三万四千回分)を始めたが、開始当初から申し込みが殺到。コールセンター、予約サイトともつ

黒岩祐治知事は二十七日の定例記者会見で、新型コロナウイルス感染防止のため飲み食いする時以外はマスクをする「マスク飲食」に厳しく取り組む飲食店を営業時間短縮要請の対象外にするよう国に要望したが「人出を抑えるのが時短営業の目的の一つ。例外を認めるべきではない」と言わ

## 知事、要望継続へ

れ、難色を示されたことを明らかにした。引き続き要望するとう。

また、マスク飲食に取り組む店を認証する制度の一号店として「中華街 桂宮」(横浜市中区)を認証したと発表した。二十六日まで約百三十件の申請があったという。(志村彰太)

の保健当局が発表した。新規感染者は一週間前の二十日より五十五人多く、三日連続で一週間前を上回った。

県は四十六人の感染を発生した。このうち伊勢原市の七十代女性は、利用している高齢者施設で体調が急変して病院に搬送。陽性が判明して入院していたが、二十五日に死亡した。鎌倉

# 被災地思い 自宅でも黙とう



## 大学生日記

のオンライン取材を進めたが、現地に行けなかったことが心残りだった。

二〇一九年六月のゼミ合宿では宮城・福島に行き、多くの震災関連施設を巡る

ことができた。その中でも宮城県石巻市の大川小学校で出会った遺族の方のお話は、今でも忘れることができない。

「娘が生きていれば、あなた達と同じ大学二年生でした」

この言葉を聞いて、私は涙が止まらなかった。初めて会う大学生に無意識に娘の姿を重ねてしまうほどに、被災者にとって震災と

## 秋山裕姫乃さん

二〇二一年三月十一日、東日本大震災から十年という節目を迎えた。多くの日本人の意識が東北に向いており、私もその中の一人だった。

私が所属するゼミナールでは、毎年被災地での合宿を行っている。しかし、今年には新型コロナウイルスの拡大を受け、現地での合宿を断念することになった。代替案として被災者の方と



津波で多くの児童らが犠牲になった大川小学校跡地で手を合わせる秋山さん(左)とゼミ生たち(宮城県石巻市)

来年の三月十一日はゼミの友人たちと現地でも過ごし、記憶の風化に立ち向かう支援をしたい。それまでにとつてか、コロナが少しでも落ち着いてほしい。

(専修大文学部四年)

## 箱根に新たな玄関口 「はこね金太郎ライン」きょう開通



南足柄市矢倉沢と箱根町仙石原を結ぶ県道731号(一〇・九キ、通称南箱道路)が二十八日午前十時、開通する。愛称は公募で「はこね金太郎ライン」に決ま

った。東名高速道路田インターチェンジから仙石原まで十分かかっていたの分には短縮されるほかに渋滞する箱根

代男性の死亡と未就学児六十代の六十二人の感染を発生した。亡くなった男性は高血圧の基礎疾患があり、発熱翌日の三月二十三日に陽性と判明して入院。四月二十四日に死亡が確認された。

横浜市の新規感染者は六十人。慶応大運動部で部員一人、日野病院(港南区)

県は二十七日、ナウイルス感染者が未滿九十代の中から変異株を検出した。一日の発表は二十六日に続きの多さ。このうちが感染経路不明。感染者は六百九人に